

# 南九州発着貨物の海運モーダルシフト

協議会名：九州広域モーダルシフト・BCP推進協議会

## 協議会構成員

宮崎県えびの市、鈴与株式会社(代表者)、八代丸善運輸株式会社、宮崎カーフェリー株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社I-ne、エステー株式会社、ライオン株式会社、アース製薬株式会社、小林製薬株式会社、株式会社あらた(順不同)

**【事業実施背景】** 南九州地域の物流は関東・関西との長距離の陸送に依存しており、2024年問題への対応が喫緊の課題。宮崎県えびの市は九州自動車道と宮崎自動車道の分岐点に位置する交通の要衝であり、当地を集出荷や中継等の拠点として活用し、かつ宮崎カーフェリーへのモーダルシフトにより、輸送の安定確保、災害強靭化や環境負荷削減に取り組む。

## 事業内容

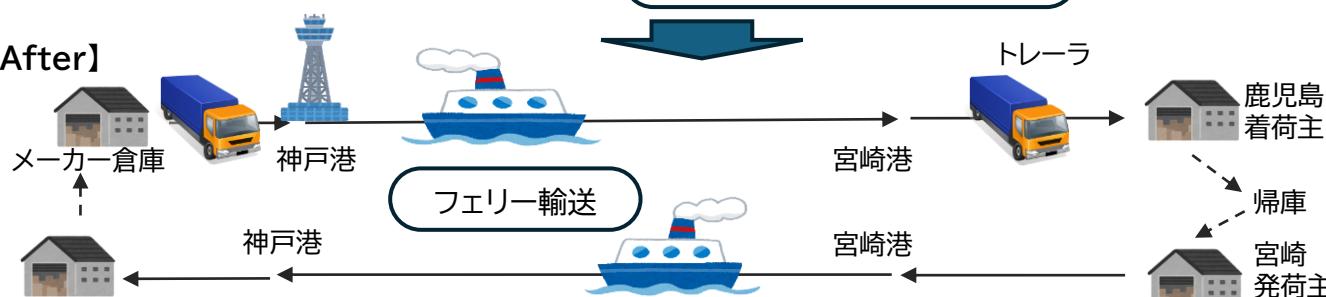


現在、本州から北部九州の拠点を経由して南九州に輸送されている日用品等の輸送と、南九州から本州に向かう食品等を、宮崎カーフェリーの海運に転換し、フェリー輸送の片荷も解消。また、南九州における交通の要衝である、えびの市の拠点を活用することで、輸送効率改善へ。

### 【Before】



### 【After】



## 想定事業実施効果

### 【事業実施による効果および目標】

- 現状、長距離の陸送による南九州への物流を、海運に転換。2024年問題への対応、災害強靭化に加え、えびの市を物流拠点として整備。
- 本事業による効果は、モーダルシフトおよびラウンド輸送※1による片荷解消等により、以下の効果を想定。KPIは環境、労働、輸送効率の3つの観点から、下表の目標を立てて取り組む。

CO2排出量(削減率)	30%削減
ドライバーの拘束および休息期間	拘束13時間以内全運行の50%以上で確保 等
トラックの積載率(積載率向上)	16%ポイント改善

※1 輸送先に荷物をおろしたトラックが、別の荷物を積み込んで出発地に戻る輸送形態のこと。